

事務事業名	土木事務事業		事業コード	08010120101	
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	小谷 嘉郎
事業対象	坂井市民 福井県民				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	身近な生活道路の整備		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	土木行政の円滑な推進、災害の発生防止、道路・河川・港湾の適正な利用、正常な機能の維持等を総合的に進める。				
	県道路協会負担金、県港湾協会負担金、新九頭竜橋建設促進期成同盟会負担金などの国及び県との事業連携を図るために必要な負担金等の予算を計上する。				
事業の目的・事業の概要等	○旅費	89千円			
	・ 総会等旅費 他				
	○燃料費	20千円			
	・ 混合油				
	○食糧費	5千円			
・ 会議用膳					
○使用料及び賃借料	39千円				
・ 大型コピーリース料 他					
○負担金	712千円				
・ 県道路協会負担金 他					

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐに行ける改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	各種総会経費の削減に努めてきています。	
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。	
目標年度 平成34 年度		
取組状況	年々、少しずつではありますが負担金の削減がなされてきています。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費					
コスト	事業費		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	7千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	853千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			事業費合計	860千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費		正職員	0.94人	6,682千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.94人	6,682千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		7,542千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源			7,542千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計			7,542千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	最小の人員で質の高い事業に取り組みます。			
すぐに行ける改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	市内交通事故死者数	人	0	0	0	0
		達成率	0	0	6	10
成果	丸岡インター連絡道路改良率	%	0	0	0	0
		達成率	0	0	0	0
活動	日本港湾協会 総会参加	回	1	1	1	1
		達成率	100	100	100	100
活動	福井県道路協会総会参加	回	1	1	1	1
		達成率	100	100	100	100
			達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値			

事務事業名	県営事業負担金		事業コード	08010120106	
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	小谷 嘉郎
事業対象	市民 県民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	市内県道の改良工事を促進させることにより、良好な道路ネットワークを整備し、市民の利便性の向上および産業の活性化を図ります。				
	福井県が実施する県道改良事業等にかかる事業費の一部を負担する。				

すぐにできる改善提案	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ないことから改善の余地はありません。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	
中長期的に取り組むべき改善提案	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ないことから改善の余地はありません。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	27,278 千円	61,864 千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	27,278 千円	61,864 千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.13 人	924 千円	0.30 人	2,039 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.13 人	924 千円	0.30 人	2,038 千円	人	千円	人	千円
総事業費		28,202 千円	63,902 千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	2,800 千円	千円	千円	千円				
		その他	325 千円	23,175 千円	千円	千円				
	一般財源	25,077 千円	40,727 千円	千円	千円					
財源合計		28,202 千円	63,902 千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県道整備にかかる負担を市が負うことは、県においてのルール見直しがなされない限り継続していく必要があります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県道整備にかかる負担を市が負うことは、県においてのルール見直しがなされない限り継続していく必要があります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県道整備にかかる負担を市が負うことは、県においてのルール見直しがなされない限り継続していく必要があります。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ない。			
すぐにできる改善提案	年に2回の事務処理であり事務の負担は少ないことから改善の余地はありません。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案				
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	県道での交通事故件数	目標値	150	達成率 150	達成率 150	達成率 200
		実績値			---	206
活動	県事業についての協議回数	目標値	4	達成率 4	達成率 4	達成率 4
		実績値	4	100	4	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				達成率
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				達成率

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【コスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	道の駅管理運営事業			事業コード	08010120111		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	渡邊 雄大		
事業対象	道の駅利用者						
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	地域が一体となったもてなしのまちづくり			事業種別	施設管理事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	道の駅の清掃及び設備管理に関する業務		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	道路利用者の利便性の向上と安全で快適な道路交通環境の形成、並びに地域の振興に寄与することを目的として、道の駅みくにと道の駅さかいを管理運営する。						
	市内2箇所の道の駅の管理業務（道の駅みくに、道の駅さかい）を行う。 ○消耗品費 369千円 ・ トイレ、施設管理用消耗品費 ○光熱水費 2,974千円 ・ 電気料、上下水道料 ○修繕料 0千円 ・ 施設等修繕料 ○通信運搬費 93千円 ・ 電話料 ○委託料 4,869千円 ・ 道の駅維持管理委託料 他 ○使用料及び賃借料 212千円 ・ ケーブルテレビ利用料 他 ○負担金 60千円 ・ 近畿「道の駅」連絡協議会負担金						

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	現状の体制と予算の中で、利用者の方々に道路等の情報発信地として、喜んでいただける施設になる様、維持管理に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	施設の老朽化が進む中、限られた予算の中で利用者には不快感を与えないよう維持管理することができました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も適切な維持管理につとめていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	適正な管理により実行してきております。		

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費				
コスト	事業費		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	4,869	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	3,342	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	93	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	272	千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	8,576	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費		正職員	0.70 人	4,976	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計	0.70 人	4,976	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		13,552	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			445	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源			13,107	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計		13,552	千円	千円	千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	道の駅が地域活性化と安全運転に寄与する比重が高いことから事業を継続します。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	地域振興施設については、管理委託がなされているが、道路施設については道路管理者の管理が妥当と考えます。					
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	施設の老朽化により維持管理費がこれまで以上に必要となってくるが予想されるため。					
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	--	年度を目安
判断事由	最小人員で管理を行っていきます。					
すぐに行える改善提案	現状の体制と予算の中で、利用者の方々に道路等の情報発信地として、喜んでいただける施設になる様、維持管理に努めていきたいと考えます。					
目標年度 -- 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	今後も適切な維持管理につとめていきます。					
目標年度 -- 年度						

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	道の駅みくに利用者数	目標値	22.0	達成率 22.0	達成率 22.0	達成率 21.0
		実績値		---	21.8	99.09
活動	道の駅 施設点検回数	目標値	12	達成率 12	達成率 12	達成率 12
		実績値	12	100	12	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	道路橋りょう総務事業			事業コード	08020105101		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	林 宏		
事業対象	坂井市民 道路通行者						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	道路に関する事務的な管理を適正に行うことにより、地域社会の発展、住民福祉の向上に寄与する。						
	市道の用地取得費等の償還、市道借地借上料の支払及び道路台帳の管理を行う。 ○委託料 4,126千円 ・道路台帳更新・修正業務委託料 他 ○使用料及び賃借料 8,636千円 ・市道敷地借上料 ○公有財産購入費 3,913千円 ・市道真砂線（三国） 道路用地取得費（債務負担行為分） ○補償金、賠償金 30,000千円 ・市道真砂線（三国） 物件移転補償費（債務負担行為分）、道路事故賠償金						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐのできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	市道借地借上料の事務については、支払関係のデータベースが出来上がりました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	道路借地については、該当地区での地積調査の実施により大きな事務改善が期待できます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう総務費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	4,127	千円	4,757	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	42,549	千円	38,643	千円	千円	千円		
	事業費合計	46,675	千円	43,399	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.70	人	4,976	千円	0.65	人	4,417	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	0.00	人	千円	千円
		人件費合計	0.70	人	4,976	千円	0.65	人	4,417	千円
	総事業費	51,651	千円	47,816	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
地方債		千円	千円	千円	千円					
その他		10,000	千円	千円	千円	千円				
一般財源		41,651	千円	47,816	千円	千円	千円			
財源合計	51,651	千円	47,816	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	土木事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。			
すぐのできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度				
成果	市道延長	目標値	788.5	達成率	785.9	達成率	780	達成率	770	達成率
		実績値	788.5	100	785.9	100	782.5	779.0		
活動	道路台帳修正業務	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値	4126	---	4200	---	2048	2667		
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率		達成率		達成率
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値		達成率		達成率		達成率		達成率

事務事業名	道路橋りょう維持事業			事業コード	08020200101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	林 宏
事業対象	坂井市民・道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	身近な生活道路の整備		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

道路の環境を常に良好な状態に維持することにより、安全、円滑で快適な交通を確保する。

○賃金 84千円
 ・清掃賃金
 ○消耗品費 120千円
 ・市道管理用消耗品費
 ○光熱水費 2,675千円
 ・照明灯・ポンプ等の電気料等
 ○修繕料 13,994千円
 ・市道修繕料
 ○通信運搬費 30千円
 ・跨道橋テレメータ一回線使用料
 ○委託料 19,562千円
 ・樹木管理委託料 11,022千円
 ・除草委託料 1,127千円
 ・踏切保安装置維持管理業務委託料 2,551千円
 ・道路施設維持管理委託料 4,862千円
 ○原材料費 1,232千円
 ・道路舗装補修剤、側溝蓋等

【事業のコスト】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう維持費					
コスト	事業費		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	19,562	27,713	千円	千円	千円	千円		
			需用費	16,789	16,955	千円	千円	千円	千円		
			役務費	30	30	千円	千円	千円	千円		
			その他	1,232	1,572	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	37,613	46,270	千円	千円	千円	千円				
	人件費		正職員	1.80人	12,796千円	1.53人	10,396千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	1.80人	12,796千円	1.53人	10,396千円	人	千円	人	千円
	総事業費		50,409千円	56,666千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	5,665千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	100千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			50,409千円	50,901千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	50,409千円	56,666千円	千円	千円	千円	千円					

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	街路樹に関する苦情件数	目標値	0	0	0	0
		実績値	4	5	10	8
成果	一般車両タイヤバンク件数	目標値	0	0	0	0
		実績値	2	0	4	3
活動	修繕件数	目標値	170	180	180	180
		実績値	182	107.06	175	97.22
		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				

すぐにできる改善提案	安心して通行できる道路状況を保持するため、日頃より道路パトロールを実施します。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	道路管理強化のため、道路パトロールについての業務担当者を設置しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安心して通行できる道路状況を保持するため、日頃より道路パトロールを実施します。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	安全な道路状況を保持していくことは、道路管理者である市の責務であります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	安全な道路状況を保持していくことは、道路管理者である市の責務であります。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	道路橋りょう維持事業については、道路の劣化が毎年進んできていることなどから事業費が嵩み、対処的な措置を行っている状況であります。今後は、道路維持予算の増加をしていく必要性に迫られています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	補修の必要な箇所は増えている状況であるが、職員削減の大きな方向性の中において現状の人員で取り組んでいきます。			
すぐにできる改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度	--	年度		

【所属長評価】

事務事業名	除雪対策事業			事業コード	08020205101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	廣部 光一
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	安全・安心対策の充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	機械による道路除雪および歩道除雪業務、消融雪施設の点検業務
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	道路除雪基本計画書、道路除雪実施計画書			

【事業の概要】

冬期間の積雪時における主要道路及び生活路線の交通を確保し、雪に強い道路づくりを進めるため、有効で適切な除雪作業を実施します。

市が保有する除雪機械および民間保有の機械を使用し、道路および歩道の除雪を実施します。また、消雪パイプ等の消融雪施設も利用して冬期間の道路交通の確保に努めています。

事業の目的・事業の概要等

- 消耗品費 2,109千円
 - ・融雪剤、タイヤチェーン等
- 光熱水費 7,973千円(4月～2月分電気料)
 - ・融雪装置運転に要する電気料、水道料
- 修繕料 9,944千円
 - ・除雪機械および消融雪施設の修繕料
- 役務費 1,912千円
 - ・除雪車の車検、特定自主検査手数料 他
- 委託料 53,731千円
 - ・除雪業務委託料（機械管理費＋作業委託料＋待機補償費） 44,605千円
 - ・融雪装置点検業務委託料他 9,126千円
- 使用料及び賃借料 20,592千円
 - ・除雪機械借上料 他
- 工事請負費 959千円
 - ・融雪装置点検清掃工事費
- その他 3,267千円
 - ・時間外勤務手当、公課費等

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう維持費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	53,732千円	67,221千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	20,975千円	19,219千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	1,938千円	1,501千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	21,865千円	14,713千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	98,510千円	102,654千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	1.17人	8,318千円	1.15人	7,814千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.17人	8,318千円	1.15人	7,814千円	人	千円	人	千円
総事業費		106,828千円	110,468千円	千円	千円	千円	千円			
特定財源		国県支出金	5,200千円	5,200千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	80千円	78千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	101,548千円	105,190千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	106,828千円	110,468千円	千円	千円	千円	千円				

【事業の成果】	成果	市道の交通障害発生件数	指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	
			目標値	件	0	達成率	0	達成率	0	達成率
	活動	除雪機械稼働時間	目標値	時間	0	達成率	0	達成率	1	達成率
			実績値	1624	---	1933	---	9553	3351	
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率			
			実績値	達成率	達成率	達成率	達成率			
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率			
			実績値	達成率	達成率	達成率	達成率			
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率			
			実績値	達成率	達成率	達成率	達成率			

すぐに行ける改善提案	通学路や区道の除雪について、市民と行政の協働により迅速な除雪作業を検討していきたいと考えます。		
目標年度	平成25年度		
取組状況	学校周辺の歩道除雪については、学校関係者およびPTAとの連携により除雪作業を実施しました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市民・道路利用者が安全に通行できる除雪業務を推進していきます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	多くの除雪路線について、市民と行政の協働により迅速な除雪作業を検討していきたいと考えています。		

【前年度改善案に対する取組状況】	妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
		【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
【担当者評価】	効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
		【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
【事業の成果】	有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
		【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B	
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B	

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	冬期の道路環境向上を図るため重要な事業と考えています。補助制度を新設し、リース機械の台数は現状維持で、補助金による保有機械の確保を図り、冬場の除雪に対応していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市民の利便性と道路環境の向上のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	厳しい財政状況のなか、最低限、現状のコストを保持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状においても必要最小限の人員で事務を行っています。			
すぐに行ける改善提案	現状の体制により、事務改善、省力化に努めていきたいと考えます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	市民・道路利用者が安全に通行できる除雪業務を推進していきます。			
目標年度	--	年度		

【前年度改善案に対する取組状況】	【担当者評価】	【所属長評価】
------------------	---------	---------

事務事業名	道路改良事業			事業コード	08020300101		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	林 宏		
事業対象	坂井市民・道路利用者						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ハード事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工		
根拠法令	有	道路法 道路構造令					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	市道の拡幅、舗装、道路側溝等の工事を実施することにより、安全、円滑で快適な交通環境を確保する。						
	道路改良工事、道路舗装工事の実施及び道路拡幅工事に伴う土地分筆業務を行う。						
	<ul style="list-style-type: none"> ○消耗品費 587千円 ・事務用消耗品費、工事発注用書籍、資料購入費等 ○委託料 5,208千円 ・積算システム保守委託 478千円 ・分筆登記、測量設計業務等委託料 4,730千円 ○使用料及び賃借料 652千円 ・工事積算システム使用料 ○工事請負費 165,305千円 ・市単独道路改良工事費 ○公財産購入費(土地) 4,691千円 ○補償金 132千円 ・道路改良工事に伴う電柱移転等補償費 						

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	5,208	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	587	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	170,780	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	176,575	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	2.66	人	18,910	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	2.66	人	18,910	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	195,485	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		195,485	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	195,485	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度			
成果	市道での交通事故発生件数	目標値	0	達成率	0	達成率	0	達成率	
		実績値	未集計	---	未集計	---	154	---	
成果	市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率			
		実績値		30.8	---	---	---		
活動	用地買収事務	目標値	達成率	5	達成率	5	達成率	4	達成率
		実績値		7	140	5	100	5	125
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率			
		実績値							
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率			
		実績値							

すぐにできる改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	限られた予算配分の中で、費用対効果の高い工法選定を行っています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度	未設定	年度	
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	道路における交通環境の改善により交通事故を防止し、交通の円滑化を図るため事業を推進します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	道路管理者である市において、利用しやすい道路環境の整備を進めています。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市民からの事業要望が多いため、現状の予算規模では要望にこたえられません。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	これまでどおりの人員で事業を遂行します。			
すぐにできる改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度	--	年度		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度	--	年度		

事務事業名	区環境整備補助事業			事業コード	08020305101		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	坪井 余次師		
事業対象	市内の自治会						
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	身近な生活道路の整備			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有	区環境整備事業費補助金交付要綱					
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	行政区が管理する道路及び排水路の整備を進めることにより、各行政区の生活環境の向上を図る。						
	同一会計年度内に1回（補助金の限度額200万円）補助する。 ○補助金 7,014千円 ・区環境整備事業費補助金						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	限られた予算の中で、市民の身近な道路・水路の環境整備に努力していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	補助金待機の状況がないよう配慮しています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地元と調整を行い、安全な道路環境整備を行っています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	7,014 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	7,014 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.53 人	3,768 千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.53 人	3,768 千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費		10,782 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		10,782 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	10,782 千円	千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	身近な生活環境の向上に対する市民のニーズは高く今後も市の支援が必要と考えます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	身近な生活環境の向上に対する市民のニーズは高く今後も市の支援が必要と考えます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	補助率50%については、市民の負担と市の財政状況を鑑み妥当と考えます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状においても必要最小限の人員で事務を行っています。			
すぐにできる改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	補助金申請待機件数	目標値	0	達成率 0	達成率 0	達成率 0
		実績値	0	---	2	3
活動	補助金支出件数	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値	14	---	16	9
活動	補助金支出実績	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値	7014	---	8143	10905
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

事務事業名	末政・随応寺線道路改良事業		事業コード	08020310101	
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	池本 成輝
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有 道路法・道路構造令				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

丸岡町市街地から春江町市街地を結ぶ幹線道路である末政・随応寺線は、大型商業施設が隣接したことなどによる渋滞が発生しているため、道路拡幅と歩道設置を行うことにより、渋滞解消と通学する児童生徒の安全確保を図る。

◆末政・随応寺線道路改良事業

- ・全体延長 L=2,150m
- ・W=14m（車道3.5m×2、歩道3.5m×2）
- ・全体事業費 2,050,000千円
- ・事業年度 H11～H30

【H24年度事業内容】

- ・高柳地係の道路改良完成
- ・北横地地係の宅地買収(278.25㎡)、建物工作物補償(建物1棟、工作物3件)
- ・上記に伴う調査、鑑定等委託

○委託料 2,200千円

- ・土地建物鑑定評価委託料 442千円
- ・物件移転調査委託料 4,620千円

○工事請負費 18,138千円

- ・道路改良工事費 7,060千円

○公有財産購入費

- ・土地購入費 25,510千円

○補償金

- ・建物移転補償費

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費							
コスト	事業費		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度				
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	5,062	千円	1,428	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	50,708	千円	52,545	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	55,770	千円	53,973	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費		正職員	0.79 人	5,616	千円	0.20 人	1,359	千円	人	千円		
			臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円		
			人件費合計	0.79 人	5,616	千円	0.20 人	1,359	千円	人	千円	千円	
			総事業費	61,386	千円	55,332	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			特定財源		国県支出金	32,996	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
					使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	分担金・負担金	千円			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	地方債	21,000			千円	17,800	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他	538	千円			1,045	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源	6,852	千円	36,487	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	61,386	千円	55,332	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果 事業進捗率	%	目標値	44	達成率 40	達成率 38	達成率 35
		実績値	44	100	40	100
成果 市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値	---	達成率	達成率	達成率
		実績値	---	---	30.8	---
活動 事業費	百万円	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値	61	---	30	---
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				

すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	春江市街地と国道8号を接続する重要路線であり、事業は丸岡町地係の一部を残すのみとなっているため。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市道改良事業のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	残事業の内容に支障物件移転が多く含まれていることから、事業費の増加を検討します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	これまでどおり、最小の人員で事業を遂行します。			
すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

事務事業名	上安田八丁線道路改良事業			事業コード	08020310102		
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	田中 栄治		
事業対象	坂井市民 道路利用者						
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成			事業種別	ハード事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工		
根拠法令	有	道路法・道路構造令					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	上安田八丁線は平成23年度末完成見込みの（都）川西国道線につながる市道であり、（都）川西国道線の開通後は交通量が増え、車両通行等の流れも変わるため、道路拡幅工事を行うことにより、混雑緩和を図る。						
	<p>◆上安田八丁線道路改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体延長L=130m ・W=10m(車道3.5m×2、右左折レーン設置、歩道なし) ・全体事業費 73,000千円 ・事業年度 H23～H25 <p>【H25年度事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事 L=130m 全体完成 <p>○工事請負費 22,400千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事費 						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	工事中の事故が生じないように十分配慮し工事を実施します。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費				
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	2,090千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	21,290千円	27,626千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	21,290千円	29,716千円	千円	千円	千円	千円		
		人件費	0.28人	1,991千円	0.30人	2,039千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.28人	1,991千円	0.30人	2,038千円	人	千円	人	千円
	総事業費	23,281千円	31,754千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	11,660千円	15,730千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	11,500千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		11,621千円	4,524千円	千円	千円	千円				
財源合計	23,281千円	31,754千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	事業に着手しており、本事業の完成により当該地点の利便性と道路環境の向上が見込まれます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市道改良事業のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し事業の早期完成を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	これまでどおり、最小の人員で事業を遂行します。			
すぐにできる改善提案	工事中の事故が生じないように十分配慮し工事を実施します。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果 事業進捗率	%	目標値	100	達成率 39	達成率 5	達成率 -
		実績値	69	69	39	100
成果 市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値	--	--	30.8	--
活動 事業費	百万円	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値	21.2	--	30	--
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の成果】

事務事業名	宮領北部線道路改良事業			事業コード	08020310105
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	竹内 孝治
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	測量設計業務、工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	坂井町中心部から丸岡北部地域及び国道8号への幹線道路となる宮領北部線を整備することにより、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図る。				
	☆宮領北部線道路改良事業 ・全体延長=1,143m ・W=14m（車道3.5m×2、歩道3.5m×2） ・全体事業費50,200千円 ・事業年度H23～H32 ・認可延長L=494m ・W=14m（車道3.5m×2、歩道3.5m×2） ・認可事業費202,000千円 ・事業年度H23～H27				
	【H24年度事業内容】 ・認可区域宮領地係内用地買収完了 ○委託料 299千円 ・土質調査業務委託料 ○公有財産購入費 8,146千円 ・土地購入費				
	事業の目的・事業の概要等				

すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。	
目標年度 平成27 年度		
取組状況	地元説明会を関係係ごとに定期的に実施し、道路計画への理解を深めるとともに、地元意見を聴取してできる限り設計に反映できるようにしています。	
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。	

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費			
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	299	6,300					
		需用費		30					
		役務費		543					
		その他	31,945						
		事業費合計	32,244	6,873					
		人件費	正職員	0.44 人	3,128 千円	0.50 人	3,398 千円		
			臨時職員	0.00 人		0.00 人			
			人件費合計	0.44 人	3,128 千円	0.50 人	3,398 千円		
	事業費	総事業費	35,372 千円	10,271 千円					
		特定財源							
		国県支出金	17,677 千円	3,300 千円					
		使用料・手数料							
		分担金・負担金							
地方債		13,600 千円	2,700 千円						
その他		499 千円							
一般財源	3,596 千円	4,271 千円							
財源合計	35,372 千円	10,271 千円							

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	事業に着手しており、本事業の完成により当該地点の利便性と道路環境の向上が見込まれます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市道改良事業のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し事業の早期完成を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状においても必要最小限の人員で事務を行っています。			
すぐに行ける改善提案	道路構造令等の制限のあるなか、地域住民の利用しやすい道路整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

事業の成果	指標名		単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
	成果	事業進捗率	%	目標値	7.3	達成率 20.4	達成率 --	達成率 --
				実績値	7.3	100	20.4	100
	成果	市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値	56.5	達成率 41.6	達成率 --	達成率 --
				実績値	56.5	100	41.6	100
	活動	事業費	百万円	目標値	31.4	達成率 30	達成率 --	達成率 --
				実績値	31.4	100	30	100
				目標値		達成率	達成率	達成率
				実績値				
				目標値		達成率	達成率	達成率
				実績値				
				目標値		達成率	達成率	達成率
			実績値					

事務事業名	木部通学道線道路改良事業			事業コード	08020310107
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	渡邊 雄大
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	安全・安心対策の充実		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

木部通学道線は木部小学校の指定通学路であるため、歩道整備を行うことにより、通学児童及び園児の安全確保を図る。

◆木部通学道線道路改良事業（歩道）

- ・全体延長 L=640m
- ・W=12m（車道3.5m×2、歩道2.5m×1～2）
- ・全体事業費 85,000千円
- ・事業年度 H21～H25

【H24年度事業内容】

- ・歩道改良部の舗装及び車道部の舗装 L=160m

○工事請負費 2,517千円

- ・道路改良工事費

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費					
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,517千円	20,111千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,517千円	20,111千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		人件費	正職員	0.21人	1,493千円	0.40人	2,718千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.21人	1,493千円	0.40人	2,718千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	4,010千円	22,829千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	1,375千円	11,000千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	1,000千円	8,500千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		1,635千円	3,329千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	4,010千円	22,829千円	千円	千円	千円	千円					

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果 事業進捗率	%	目標値	73	達成率 70	達成率 48	達成率 25
		実績値	73	100	70	100
成果 市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値		30.8	---	---
活動 事業費	百万円	目標値	2.5	達成率 20	達成率 20	達成率 20
		実績値	2.5	100	20	100
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

すぐにできる改善提案	用地取得は終了しており、事業完了に向けて円滑に工事を進めているよう努めます。
目標年度 平成25年度	
取組状況	地元との調整を行いながら事業を進めています。
中長期的に取り組むべき改善提案	当初からの計画通り、平成25年度での事業完了を目指し事業を推進します。
目標年度 平成25年度	
取組状況	平成25年度で事業完了予定です。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	用地の取得が完了し、本事業の完成により当該地点の利便性と道路環境の向上が見込まれます。当初計画通り、平成25年度の事業完了を目指しこのまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	市道改良事業のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し事業の早期完了を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	現状のまま最少人数の担当者により事業を継続します。			
すぐにできる改善提案	事業を円滑に進めていけるように地元との調整を行い、事業を推進していきます。			
目標年度 平成25年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	平成25年度での事業完了を目指します。			
目標年度 平成25年度				

【事業の成果】

事務事業名	加戸8号線道路改良事業			事業コード	08020310108
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	小林 知晃
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	安全・安心対策の充実		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

加戸8号線は加戸小学校の指定通学路であるため、歩道の整備を行うことにより、通学児童の安全確保を図る。

◆加戸8号線道路改良事業（歩道）

- ・全体延長 L=820m
- ・W=9.5m（車道3.5m×2、歩道2.5m×1）
- ・全体事業費 115,000千円
- ・事業年度 H21～H25

【H24年度事業内容】

- ・歩道改良 L=310m

○工事請負費 22,498千円

- ・道路改良工事費

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	地元等の調整や用地の取得は終了しているので、工事の推進を行います。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	予算の減額があり、予定していた進捗ができなかったが平成25年度で完了予定です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	平成25年度の事業完了にむけて事業を推進していきます。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	平成25年度で完了予定です。		

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費						
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	22,498 千円	25,037 千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	22,498 千円	25,037 千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	0.35 人	2,488 千円	0.30 人	2,039 千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	0.35 人	2,488 千円	0.30 人	2,038 千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	24,986 千円	27,075 千円	千円	千円	千円	千円				
		特定財源	国県支出金	12,320 千円	13,750 千円	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			地方債	9,500 千円	10,600 千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		3,166 千円	2,725 千円	千円	千円	千円	千円					
財源合計	24,986 千円	27,075 千円	千円	千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	平成25年度の事業完了に向けて今後も事業を継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	市道改良事業のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当であります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し事業の早期完成を目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	今後も担当者により事業を推進します。			
すぐにできる改善提案	地元等の調整や用地の取得は終了しているので、工事の推進を行います。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	平成25年度の事業完了にむけて事業を推進していきます。			
目標年度 平成25 年度				

成果	活動	指標名	単位	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
事業進捗率			%	80		56		36		25	
				実績値	75	93.75	56	100	36	100	25
事業費			百万円	27.5		20		20		20	
				実績値	22.5	81.82	20	100	20	100	20
				目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
				実績値							
				目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
				実績値							
				目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	
				実績値							

【事業の成果】

【所属長評価】

事務事業名	雄島16号線（雄島橋）橋梁補修事業			事業コード	08020310109
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	田島 康亨
事業対象	坂井市民 道路利用者 観光客				
総合計画	基本構想	多様な都市活動を支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	骨格的な道路ネットワークの形成		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	測量設計業務、工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	橋梁を常に良好な状態に維持することにより、安全、円滑で快適な通行を確保していきます。				
	☆雄島16号線（雄島橋）橋梁補修事業 ・橋長 L=224.0m ・幅員 W=4.5m ・全体事業費 265,000千円 ・事業年度 H21～H24				
	【H24年度事業内容】 ・工事施工 ○工事請負費 70,263千円 ・橋梁補修工事				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	当初からの予定通り、平成24年度にて事業完了いたしました。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			
中長期的に取り組むべき改善提案	当初からの予定通り、平成24年度にて事業完了いたしました。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況			

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費	
コスト	事業費		平成24年度		平成21年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円
			委託費	千円	千円	千円	千円
			需用費	千円	千円	千円	千円
			役務費	千円	千円	千円	千円
			その他	70,263千円	77,599千円	千円	千円
	事業費合計	70,263千円	77,599千円	千円	千円		
	人件費		平成23年度		平成22年度		
			正職員	0.31人 2,204千円	0.00人 千円	人 千円	人 千円
			臨時職員	0.00人 千円	0.00人 千円	人 千円	人 千円
			人件費合計	0.31人 2,204千円	0.00人 千円	人 千円	人 千円
			総事業費	72,467千円	77,599千円	千円	千円
事業費			72,467千円	77,599千円	千円	千円	
特定財源		平成23年度		平成22年度			
		国県支出金	38,500千円	千円	千円	千円	
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	
		地方債	28,300千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	35,030千円	千円	千円	
一般財源	5,667千円	42,569千円	千円	千円			
財源合計	72,467千円	77,599千円	千円	千円			

【事業のコスト】

事業の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	当初計画通り、平成24年度にて事業完了致しました。			
実施主体の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	当初計画通り、平成24年度にて事業完了致しました。			
コスト投入の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	当初計画通り、平成24年度にて事業完了致しました。			
人員投入の方向性	完了しました。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	当初計画通り、平成24年度にて事業完了致しました。			
すぐにできる改善提案	事業完了致しました。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	事業完了致しました。			
目標年度 -- 年度				

成果	指標名	単位	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
事業進捗率		%	100	達成率	74	達成率	46	達成率	3	達成率
			実績値	100	100	74	100	46	100	3
事業費		百万円	70	達成率	0	達成率	95	達成率	100	達成率
			実績値	70	100	0	100	95	100	100
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値							
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値							
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値							

【事業の成果】

事務事業名	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業			事業コード	08020315101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	田島 康亨
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	災害に強いまちづくりの推進		事業種別	ハード事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	工事施工
根拠法令	有	道路法・道路構造令			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	三国中学校に通じる新設道路（三国113号線）を整備することにより、地域住民の避難路の整備と防災空間の確保、災害対策の充実を図る。				
	<p>◆三国113号線道路新設改良事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体延長 L=340m ・W=9.25m(車道3.25m×2、歩道2.5m×1) ・全体事業費 164,000千円 ・事業年度 H23～H24 <p>【H24年度事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事 L=280m 全体完成 ・ポール解体工事 <p>○工事請負費 133,845千円</p>				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	事業目的に副った工事の執行に取り組みます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	事業目的に副った事業に取り組んでいます。	
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	地域住民との協議・立会いを実施しながら工事を進めています。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	道路橋りょう新設改良費					
コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	133,845千円	29,400千円	千円	千円	千円	千円			
		事業費合計	133,845千円	29,400千円	千円	千円	千円	千円			
		人件費	正職員	0.37人	2,630千円	1.00人	6,795千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.37人	2,630千円	1.00人	6,795千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	136,475千円	36,195千円	千円	千円	千円	千円			
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			31,949千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		104,526千円	36,195千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	136,475千円	36,195千円	千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	本事業の完成により、当該地点の利便性と道路環境の向上が見込まれます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	市道改良工事のため、道路管理者である市が事業を実施することが妥当です。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	国の補助金を活用し、事業を推進します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状通り、最小の人員で事業を進めます。			
すぐにできる改善提案	事業目的に副った工事の執行に取り組みます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

【所属長評価】

事業の成果	指標名		単位	年度	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
	成果	防災道路の整備箇所	箇所	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
				実績値	1	100	1	100	1	100	1	100
	成果	市民満足度調査における道路網の整備における「満足」「やや満足」の割合	%	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値			30.8	---	---	---	---	
	活動	事業費	百万円	目標値	134	達成率	31	達成率	41	達成率	10	達成率
				実績値	134	100	29	93.55	41	100	10	100
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

事務事業名	交通安全施設整備事業			事業コード	08020400101
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	渡邊 雄大
事業対象	坂井市民 道路利用者				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	安全・安心対策の充実		事業種別	施設管理事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	交通安全に資する工事
根拠法令	有	道路法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の目的・事業の概要等	道路における交通環境の改善により交通事故を防止し、あわせて交通の円滑化を図ります。				
	交通安全に資する工事（カーブミラー、ガードパイプ等）の実施と、道路照明灯・防犯灯の維持管理を行います。				
	○光熱水費 18,004千円 ・道路照明灯、防犯灯の電気料 ○修繕料 6,499千円 ・照明灯、交通安全施設修繕料 ○委託料 1,221千円 ・道路照明灯維持管理委託料 ○工事請負費 17,996千円 ・照明灯、交通安全施設整備工事費				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐに行える改善提案	道路パトロールの実施により早期の修繕箇所の把握と対処に努めます。	
目標年度 平成26 年度		
取組状況	地元との協議、立会いにより事業の執行を行っています。地域格差の是正については、緊急性の高い箇所から事業を行っていることから、計画的な整備に取りかかれていない状況です。	
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。	
目標年度 未設定 年度		
取組状況	緊急性の高い箇所から事業を行っていることから、計画的な整備に取りかかれていない状況です。	

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	交通安全施設費				
コスト	事業費		平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	1,221	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	24,503	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	17,995	千円	千円	千円	千円	千円	
			事業費合計	43,719	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費		正職員	1.45 人	10,308	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	
			人件費合計	1.45 人	10,308	千円	人	千円	人	千円
	事業費	特定財源	総事業費	54,027	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
地方債			千円	千円	千円	千円	千円			
その他			千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源			54,027	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	54,027	千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	道路における交通環境の改善により交通事故を防止し、交通の円滑化を図るため事業を推進します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	公安委員会との連携を密にし、道路管理者である市が実施する事業について取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成25	年度を目安
判断事由	交通事故防止を一層推進します。特に児童生徒の安全確保を図るため、事業費の増加を検討します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	これまでどおり、最小の人員で事業を遂行します。			
すぐに行える改善提案	道路パトロールの実施により早期の修繕箇所の把握と対処に努めます。			
目標年度 平成25 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	安全で快適な道路環境の整備に努めていきます。			
目標年度 -- 年度				

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度
成果	市内交通事故死亡数	人	目標値 0 達成率	0 達成率	0 達成率	0 達成率
		実績値 2	6	---	6	10
成果	交通安全施設の修繕件数	件	目標値 70 達成率	70 達成率	160 達成率	100 達成率
		実績値 108 154.29	74 105.71	168	90	
活動	交通安全施設の修繕件数	件	目標値 70 達成率	70 達成率	160 達成率	100 達成率
		実績値 108 154.29	74 105.71	168	90	
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

事務事業名	河川事務事業		事業コード	08030105101	
所管部署	建設課	電話	50-3051	記入者名	田中 栄治
事業対象	坂井市民、関係地域住民				
総合計画	基本構想	安全で快適な暮らしを支えるまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	災害に強いまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

河川の適正な利用及び正常な機能の維持等を総合的に進めていくことで、災害の発生防止、河川環境の維持向上を図る。

磯部川、片川のポンプ場の管理、河川堤防の草刈等を行うことにより、安心・安全で快適な河川環境づくりを推進する。

○賃金 1,455千円
・磯部川、片川水門管理人賃金
・河川管理清掃人夫賃
○需用費 213千円
・光熱水費 他
○委託料 740千円
・田島川、間島川水門管理委託料
・河川維持管理委託料
○工事請負費 3,922千円
・大谷川、大滝川沈砂池浚渫工事費
○負担金 2,246千円
・九頭竜川水系水防演習負担金 他
○補助金 2,762千円
・地域をつなぐ河川環境づくり推進事業費補助金

予算	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費						
【事業の概要】	コスト	事業費	平成24年度		平成23年度		平成22年度		平成21年度			
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			委託費	741	千円	千円	千円	千円	千円			
			需用費	213	千円	千円	千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
			その他	8,930	千円	千円	千円	千円	千円			
			事業費合計	9,883	千円	千円	千円	千円	千円			
			人件費	正職員	1.17	人	8,318	千円	人	千円	人	千円
				臨時職員	0.00	人	千円	千円	人	千円	人	千円
				人件費合計	1.17	人	8,318	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	18,201	千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	国県支出金	3,115	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円					
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円					
			地方債	千円	千円	千円	千円					
その他			1,741	千円	千円	千円	千円					
一般財源			13,345	千円	千円	千円	千円					
財源合計	18,201	千円	千円	千円	千円	千円						

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
【事業の概要】	成果	河川に関する苦情件数	件	目標値 0 達成率	0 達成率	0 達成率	0 達成率	
		実績値	10	---	8	---	10	
【事業の概要】	活動	河川管理委託料	千円	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
				実績値	740	---	678	---
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		

【前年度改善案に対する取組状況】	すぐに行える改善提案	現状の体制により、サービス水準等の維持に努めてまいります。
目標年度	未設定	年度
取組状況	大幅な、事務改善余地はありませんが、事業のコストダウンに努めてきています。	
中長期的に取り組むべき改善提案	河川事業は住民の生命財産のに直結する事業であり、現状の体制によりサービス水準等の維持に努めてまいります。	
目標年度	未設定	年度
取組状況	地域住民との協働による河川環境の維持に取り組んでまいります。	

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【前年度改善案に対する取組状況】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【前年度改善案に対する取組状況】	事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	河川事業は住民の生命財産のに直結する事業であり、豊かな生活と産業発展を実現する安全な地域づくりを進めるため事業の推進に努めます。				
【担当者評価】	実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	河川事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のため、市が国県へ働きかけていきます。				
【前年度改善案に対する取組状況】	コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	河川事業は住民生活の安心安全、利便性の向上に直結する事業のためサービス水準等の維持に努めなければならないと考えます。				
【担当者評価】	人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状においても必要最小限の人員で事務を行っています。				
【前年度改善案に対する取組状況】	すぐに行える改善提案	現状の体制により、サービス水準等の維持に努めてまいります。	目標年度	--	年度
中長期的に取り組むべき改善提案	河川事業は住民の生命財産のに直結する事業であり、現状の体制によりサービス水準等の維持に努めてまいります。				
目標年度	--	年度			

指標名	単位	年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度		
【事業の概要】	成果	河川に関する苦情件数	件	目標値 0 達成率	0 達成率	0 達成率	0 達成率	
		実績値	10	---	8	---	10	
【事業の概要】	活動	河川管理委託料	千円	目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
				実績値	740	---	678	---
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		目標値	達成率	達成率	達成率	達成率		
		実績値	達成率	達成率	達成率	達成率		